



平成26年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月6日

上場会社名 株式会社 THEグローバル社

上場取引所 東

コード番号 3271 URL <http://www.the-g.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 永嶋 秀和

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長 (氏名) 岡田 一男

TEL 03-3345-6111

四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年6月期第2四半期の連結業績(平成25年7月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年6月期第2四半期	12,871	20.2	307	△58.0	64	△84.8	27	△85.2
25年6月期第2四半期	10,706	59.9	732	128.7	421	123.0	185	81.9

(注)包括利益 26年6月期第2四半期 36百万円 (△80.9%) 25年6月期第2四半期 189百万円 (86.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年6月期第2四半期	2.10	1.98
25年6月期第2四半期	14.44	13.76

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年6月期第2四半期	25,253	4,854	18.9	364.20
25年6月期	24,579	4,996	20.0	377.26

(参考)自己資本 26年6月期第2四半期 4,777百万円 25年6月期 4,912百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年6月期	—	0.00	—	15.00	15.00
26年6月期	—	0.00	—	—	—
26年6月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年6月期の連結業績予想(平成25年7月1日～平成26年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	39,859	62.1	2,371	44.7	1,801	72.8	1,052	93.1	80.83

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ― 社 （社名） 、 除外 ― 社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 無
④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年6月期2Q	13,118,600 株	25年6月期	13,022,200 株
② 期末自己株式数	26年6月期2Q	76 株	25年6月期	76 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年6月期2Q	13,038,889 株	25年6月期2Q	12,847,430 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表の四半期レビュー手続が実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、米国財政問題や欧州政府債務問題、中国経済や新興国経済の成長鈍化等による世界経済の不確実性が残るものの、「アベノミクス」効果や「東京オリンピック」への期待感を背景とした消費マインドの回復、企業活動の活性化等により支えられ、緩やかな回復基調になりました。今後においても為替、株式市況、金利、周辺国との政治的緊張等、依然として不透明な状況は続くものの、総じて日本経済は回復経路に復していくことが予想されます。

当社グループが属する不動産業界におきましても、低金利融資や住宅ローン減税の継続、消費マインドの回復等により、市場全般において回復基調にて推移しました。また、平成25年12月の株式会社不動産経済研究所調査による首都圏新築分譲マンションの契約率は76.1%と好不調の目安になる70%を11か月連続で上回りました。今後も建築費の高騰、地価の上昇や消費税増税等の影響がありつつも、今暫くは底堅く推移するものと考えております。

このような環境下、当社グループにおきましては、マンション事業と戸建事業を事業の二本柱として事業拡大を図り、多様化するお客様ニーズに対応したデザイン性の高い高品質な家づくりに注力いたしました。

マンション事業におきましては、デザイン性や品質が高い「ウィルローズ」シリーズが概ね好調に販売推移しております。

戸建事業におきましては、建売住宅が概ね順調に推移しております。また、建売住宅に選ぶという楽しさを盛り込んだ「H O U S T Y L E (ハウスタイル)」の商品開発に注力しております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は12,871百万円(前年同四半期比20.2%増)、営業利益は307百万円(前年同四半期比58.0%減)、経常利益は64百万円(前年同四半期比84.8%減)、四半期純利益は27百万円(前年同四半期比85.2%減)となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるセグメントの業績は次のとおりであります。

なお、売上高の金額につきましては、セグメント間の内部売上高を含めて記載しております。

[マンション事業]

マンション事業におきましては、「ウィルローズ国分寺」、「ウィルローズふじみ野」、「ウィルローズ一之江」、「グlaus日本橋小網町」等、合計198戸の引渡しを行いました。

以上の結果、当セグメントの売上高は5,809百万円(前年同四半期比19.2%減)、営業利益は216百万円(前年同四半期比75.5%減)となりました。

[戸建事業]

戸建事業におきましては、「杉並区和田プロジェクト」、「東大和市高木プロジェクト」、「西東京市北町プロジェクト」、「大和市つきみ野プロジェクト」、「所沢市久米4期プロジェクト」、「港南区笹下プロジェクト」等、合計174戸の引渡しを行いました。

以上の結果、当セグメントの売上高は6,448百万円(前年同四半期比99.8%増)、営業利益は324百万円(前年同四半期比254.2%増)となりました。

[販売代理事業]

販売代理事業におきましては、自社開発及び他社開発物件の販売代理を行い、東京都区部で8物件196戸、東京都下で2物件41戸、神奈川県で2物件26戸、埼玉県で2物件50戸、合計14物件313戸の引渡しを行いました。

以上の結果、当セグメントの売上高は646百万円(前年同四半期比59.1%増)、営業利益は198百万円(前年同四半期は営業損失9百万円)となりました。

[建物管理事業]

建物管理事業におきましては、マンション管理が順調に推移しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は142百万円(前年同四半期比23.9%増)、営業利益は23百万円(前年同四半期比34.0%増)となりました。

[その他]

その他におきましては、賃貸用不動産から賃料収入を確保しております。

以上の結果、当セグメントの売上高は63百万円(前年同四半期比5.9%増)、営業利益は44百万円(前年同四半期比0.6%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末に比べ674百万円増加し、25,253百万円となりました。負債については前連結会計年度末から817百万円増加し、20,399百万円となりました。また、純資産については前連結会計年度末から142百万円減少し、4,854百万円となりました。前連結会計年度末からの主な変動要因は以下のとおりであります。

資産の主な要因については、現金及び預金が1,548百万円減少したこと、販売用不動産が790百万円減少したこと、及び仕掛販売用不動産が3,151百万円増加したことによるものであります。負債の主な要因については、新規物件の取得に伴い有利子負債が2,856百万円増加したこと、前受金が591百万円増加したこと、及び買掛金が1,285百万円減少したことによるものであります。また、純資産の主な要因としては、配当金の支払いにより利益剰余金が195百万円減少したことによるものであります。

<キャッシュ・フローの状況>

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ1,580百万円減少し、1,500百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益51百万円を計上した一方、たな卸資産の増加額2,355百万円、仕入債務の減少額1,285百万円、預り金の減少額1,049百万円、前受金の増加額591百万円、利息の支払額208百万円及び法人税等の支払額274百万円を主要因として、4,207百万円の支出（前年同期は3,107百万円の支出）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、定期預金の預入による支出15百万円、有形固定資産の取得による支出34百万円を主要因として、52百万円の支出（前年同期は127百万円の支出）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の純増額915百万円、長期借入れによる収入6,331百万円、長期借入金の返済による支出3,815百万円を主要因として、2,677百万円の収入（前年同期は2,342百万円の収入）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年6月期の連結業績予想につきましては、平成25年8月8日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,154,448	1,606,358
売掛金	109,196	33,064
完成工事未収入金	73,187	77,781
販売用不動産	3,366,241	2,576,117
仕掛販売用不動産	14,246,934	17,398,250
前払費用	1,343,313	1,464,234
繰延税金資産	68,423	177,729
その他	488,604	180,629
貸倒引当金	△4,500	—
流動資産合計	22,845,851	23,514,165
固定資産		
有形固定資産	1,302,674	1,289,643
無形固定資産	18,703	19,312
投資その他の資産		
投資有価証券	68,911	77,694
関係会社株式	—	10,000
破産更生債権等	133,800	133,249
その他	342,903	351,482
貸倒引当金	△133,800	△142,249
投資その他の資産合計	411,814	430,176
固定資産合計	1,733,192	1,739,133
資産合計	24,579,043	25,253,299
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,921,582	636,426
短期借入金	2,678,500	3,594,062
1年内返済予定の長期借入金	5,665,390	7,693,230
1年内償還予定の社債	575,000	400,000
未払金	395,720	226,580
未払法人税等	286,960	143,105
未払消費税等	4,657	25,217
前受金	932,899	1,524,537
賞与引当金	13,933	15,762
繰延税金負債	980	—
その他	1,188,383	129,262
流動負債合計	13,664,008	14,388,184
固定負債		
社債	400,000	—
長期借入金	5,464,000	5,952,380
繰延税金負債	6,639	11,066
その他	47,562	47,580
固定負債合計	5,918,201	6,011,026
負債合計	19,582,210	20,399,210

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成25年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	374,982	387,108
資本剰余金	1,321,211	1,333,337
利益剰余金	3,207,611	3,039,647
自己株式	△33	△33
株主資本合計	4,903,772	4,760,060
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,984	18,258
為替換算調整勘定	△3,007	△545
その他の包括利益累計額合計	8,976	17,712
新株予約権	84,084	76,315
純資産合計	4,996,833	4,854,088
負債純資産合計	24,579,043	25,253,299

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年7月1日 至 平成24年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年7月1日 至 平成25年12月31日)
売上高	10,706,379	12,871,480
売上原価	8,388,319	10,553,901
売上総利益	2,318,059	2,317,579
販売費及び一般管理費	1,585,132	2,009,963
営業利益	732,927	307,615
営業外収益		
受取利息	1,326	1,203
受取手数料	13,572	11,106
解約精算金	8,620	11,179
その他	9,089	9,499
営業外収益合計	32,609	32,989
営業外費用		
支払利息	155,895	222,721
持分法による投資損失	4,712	1,593
支払手数料	20,106	47,112
株式公開費用	22,289	—
貸倒引当金繰入額	134,000	4,500
その他	6,886	639
営業外費用合計	343,891	276,566
経常利益	421,645	64,038
特別利益		
投資有価証券売却益	166	—
特別利益合計	166	—
特別損失		
固定資産除却損	185	5,352
投資有価証券売却損	1	—
ゴルフ会員権評価損	—	7,476
特別損失合計	186	12,829
税金等調整前四半期純利益	421,625	51,208
法人税、住民税及び事業税	225,980	131,468
法人税等調整額	10,132	△107,627
法人税等合計	236,113	23,841
少数株主損益調整前四半期純利益	185,512	27,367
四半期純利益	185,512	27,367

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年7月1日 至 平成24年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年7月1日 至 平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	185,512	27,367
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,432	6,273
為替換算調整勘定	1,268	1,905
持分法適用会社に対する持分相当額	897	556
その他の包括利益合計	3,598	8,735
四半期包括利益	189,110	36,103
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	189,110	36,103

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年7月1日 至 平成24年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年7月1日 至 平成25年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	421,625	51,208
減価償却費	40,921	45,291
株式報酬費用	3,452	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	56	1,829
貸倒引当金の増減額(△は減少)	134,000	3,949
受取利息及び受取配当金	△1,345	△1,218
支払利息	155,895	222,721
為替差損益(△は益)	△6,183	△3,561
持分法による投資損益(△は益)	4,712	1,593
株式公開費用	22,289	—
投資有価証券売却益	△166	—
投資有価証券売却損	1	—
固定資産除却損	185	5,352
ゴルフ会員権評価損	—	7,476
売上債権の増減額(△は増加)	41,477	71,537
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,285,361	△2,355,006
前払費用の増減額(△は増加)	△50,248	△118,493
長期前払費用の増減額(△は増加)	△1,488	1,163
仕入債務の増減額(△は減少)	122,191	△1,285,155
未払金の増減額(△は減少)	△159,368	△168,982
未払消費税等の増減額(△は減少)	△132,992	20,560
未払費用の増減額(△は減少)	6,726	△26,435
前受金の増減額(△は減少)	△25,445	591,638
預り金の増減額(△は減少)	△163,334	△1,049,602
その他	△111,797	213,508
小計	△1,984,198	△3,770,627
利息及び配当金の受取額	1,345	1,218
利息の支払額	△153,919	△208,577
法人税等の還付額	82,938	45,839
法人税等の支払額	△1,053,780	△274,930
営業活動によるキャッシュ・フロー	△3,107,612	△4,207,078

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年7月1日 至 平成24年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年7月1日 至 平成25年12月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	7,200	—
定期預金の預入による支出	△15,960	△15,500
有形固定資産の取得による支出	△4,840	△34,584
無形固定資産の取得による支出	—	△3,613
差入保証金の回収による収入	3,420	47,315
差入保証金の差入による支出	△114,327	△33,988
出資金の払込による支出	△200	△50
保険積立金の積立による支出	△2,164	△2,164
投資有価証券の取得による支出	△1,200	—
投資有価証券の売却による収入	207	—
子会社株式の取得による支出	—	△10,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△127,866	△52,585
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,035,868	915,562
長期借入れによる収入	4,621,100	6,331,400
長期借入金の返済による支出	△3,275,537	△3,815,180
社債の償還による支出	—	△575,000
株式の発行による収入	171,794	16,483
株式公開費用の支出	△22,289	—
自己株式の取得による支出	△33	—
配当金の支払額	△188,652	△195,331
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,342,249	2,677,933
現金及び現金同等物に係る換算差額	6,183	1,437
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△887,045	△1,580,293
現金及び現金同等物の期首残高	2,852,108	3,081,184
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,965,062	1,500,891

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年7月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務 諸表計上 額 (注) 3
	マンション 事業	戸建 事業	販売代理 事業	建物管理 事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	7,191,791	3,227,655	113,631	113,052	10,646,131	60,248	10,706,379	—	10,706,379
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	292,636	1,723	294,359	—	294,359	△294,359	—
計	7,191,791	3,227,655	406,267	114,776	10,940,490	60,248	11,000,739	△294,359	10,706,379
セグメント利益 又は損失(△)	883,218	91,536	△9,021	17,552	983,286	44,613	1,027,899	△294,972	732,927

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△294,972千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務人事・財務経理部門等の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成25年7月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務 諸表計上 額 (注) 3
	マンション 事業	戸建 事業	販売代理 事業	建物管理 事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	5,809,311	6,448,146	408,781	141,424	12,807,664	63,816	12,871,480	—	12,871,480
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	237,765	801	238,567	—	238,567	△238,567	—
計	5,809,311	6,448,146	646,546	142,226	13,046,231	63,816	13,110,047	△238,567	12,871,480
セグメント利益	216,530	324,252	198,508	23,528	762,820	44,882	807,703	△500,087	307,615

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△500,087千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務人事・財務経理部門等の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。